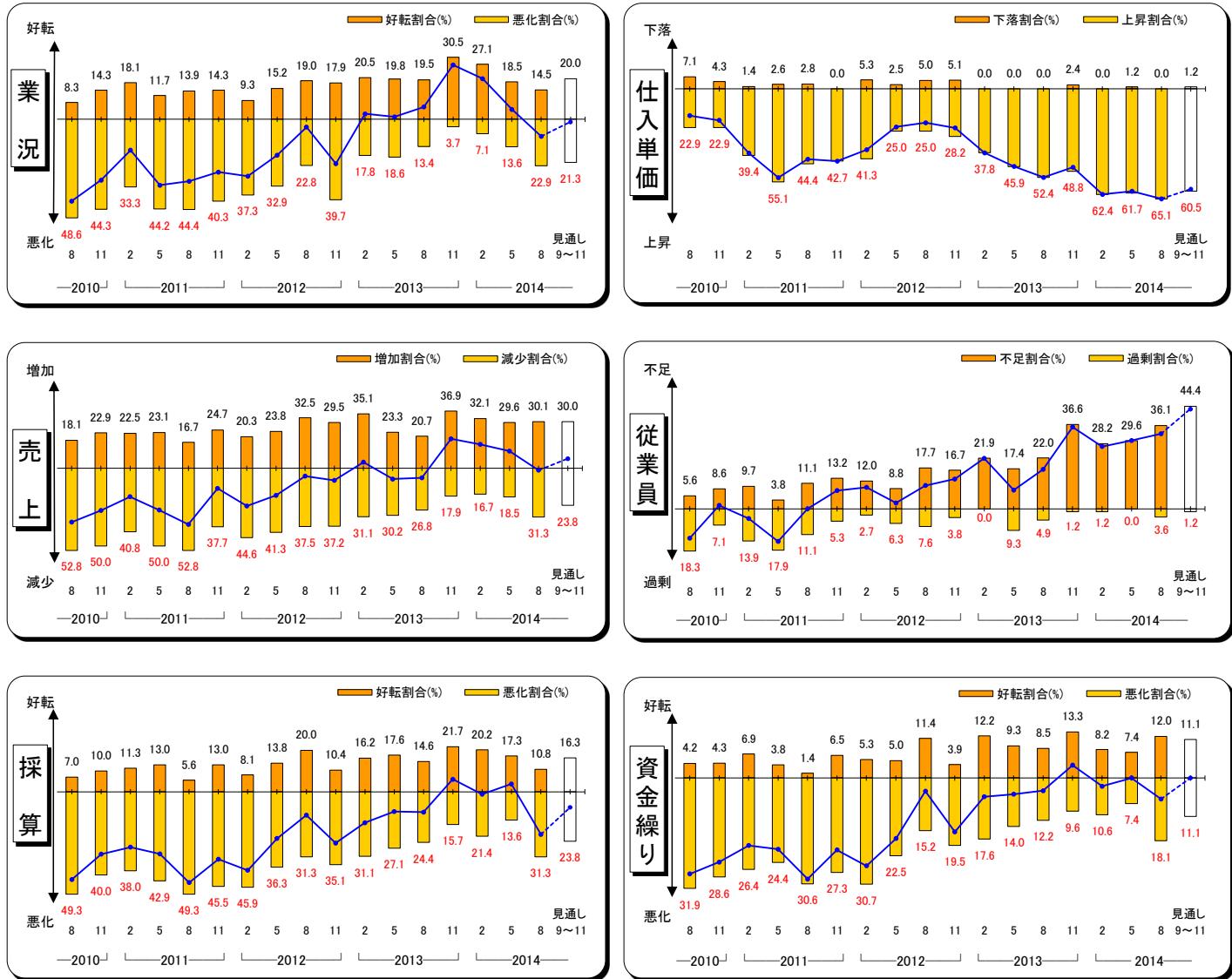


# 【建設業】①



## 【建設業】②

### 企業の声（順不同）

土木建築工事業	決算終了。土地、不動産の売買や仲介料が増加。それに伴い工事費が上昇した。
土木建築工事業	世間ではインフレと言われていますが、燃料代及び資材代について、受注単価に全く反映できません。
土木建築工事業	工事に対応可能な技術者が不足しているため、新規受注を見送ることがあります。また、多くのハローワーク等の紹介機関に求人情報を登録しても人材獲得が困難です。
土木建築工事業	公共工事の増加を期待していましたが、4月以降8月現在では逆に減少しているような気が致します。千葉市・千葉県共に、景気が好転すれば収益が上がるという単純な事を全く考えていないのかと思われます。スーパーゼネコンによる工事見通しは好転がありそうですが、我々地元の業者にとっては、人手を限られ、材料の値上がりなど、マイナス面が多いと思われます。
土木建築工事業	都心の一部やオリンピック関連については、不動産、建設共に上昇していると思われますが、千葉の方へはあまり影響がありません。逆に建売物件は供給過剰のため値崩れが起きている状況です。大手企業は売れないとすぐ値下げ、場合によっては赤字でも投げ売りして撤退するので、地場の業者は迷惑していますが、どうしようもありません。
土木建築工事業	人手不足であっても、消費税率引き上げに伴う賃金の上げ幅がないことが現実です。
鉄筋工事業	従業員全員の社会保険加入で、会社の負担増になっています。
設備工事業	月々の売上高の増減あり。年間を通じて減少している。
電気工事業	我社にも東北事業所があり、復興に少しでも役に立ちたいと心掛けておりますが、電気工事業(建築関係)も人手不足で、なかなか思うようにお役に立てないのが残念です。
電気配線工事業	人手不足のため受注を減らしている。当社の売上も減少し、社長業の引退も考えている。
管工事業	先行きは読めません。
冷暖房設備工事業	地元自治体発注工事においても不調不落が多発している。その対策として、総合評価方式一般競争入札を活用して、入札参加者が増えるように参加条件を緩和したら良いと思う。
冷暖房設備工事業	受注工事の工期がこの業界は大体一緒なので、各々の同業者も急激に人手不足となっています。公共工事の発注の在り方を考えて欲しいと思います。
冷暖房設備工事業	比較的に小口受注が多く、多忙な毎日です。長期天気予報が当初の予報と変わり、しばらく暑い日が続くとのことで、先行きに期待しています。
給排水・衛生設備工事業	新築やリフォームに対する優遇措置等が、金融機関などを通じて採られているようですが、大手や力のある企業以外には無策に近い政策と感じます。懇意な同業者や異業種の方と連携し、地域に密着しつつ修繕・リフォームを生業としていますが、状況は芳しくありません。